

陳情第98号	受理年月日	平成30年6月21日
付託委員会	保健病院委員会	
件名	スペースワールド跡地に残るスペースシャトル像の 存続要請について	
要旨	<p>開園当初から存在するスペースシャトルの模型は、NASA公認の国内唯一の実物原寸大像で、細部まで精巧につくられており、建築的、資料的価値も高い。</p> <p>また、園のみならず、県内、九州域内で広く認知され、北九州市を代表するランドマークとしての役割を果たし、同園と北九州市の歴史をしのばせる貴重な遺産であると考えます。</p> <p>スペースワールドは、1990年の開園以降、来園者や地域住民から長年親しまれた。北九州市と種子島との文化交流が始まった理由もスペースワールドがあったからにほかならない。一つの象徴として今後もスペースシャトル像が残ることは文化的に非常に有益であり、ぜひとも行政主導のもと存続の道筋をとすため、以下のとおり措置していただきたい。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 昨年末に閉園したスペースワールド跡地に残るスペースシャトル像を北九州市のランドマークとして存続させること。 2 新日鉄住金とイオンモールとの協議に参画し、同地区への移設が計画されている児童文化科学館においてスペースシャトル像をメインモニュメントとして保存、活用すること。児童文化科学館で新設されるプラネタリウムや月の石の展示等とタイアップさせ、次世代の子供たちへ宇宙や科学への関心を育む役割を果たすこと。また、長年スペースワールドを愛した人々の心のよりどころとすること。 3 スペースシャトル像の所有権を新日鉄住金から北九州市に移譲すること。維持費の見通しがつくまでは見守り保存とすること。 	